

豊中市における 医療的ケア児者の 災害対策の取り組み



豊中市健康医療部長
豊中市保健所長
松浪 桂



保健所と市町村の地域保健業務

大阪府保健所 9保健所

池田・茨木・守口・四条畷・藤井寺・
富田林・和泉・岸和田・泉佐野

難病患者、慢性疾患や身体障害児等
相談支援、こころの健康相談支援
感染症対策
食品衛生・環境衛生、水質検査
医事・薬事
先駆的な健康づくり・企画調整
市町村への技術支援など

市町村保健センター

健康相談・健康診査
(母子保健・老人保健
サービス、栄養相談)
予防接種など

管轄人口

270万人

人口比
3 : 7

政令指定都市・中核市保健所 9保健所

大阪市・堺市

高槻市・東大阪市・豊中市・枚方市・八尾市・寝屋川市

行政区単位で保健所業務と保健センターの業務を総合的に実施

609万人

豊中市こども施策



はぐくみセンター

- ライフステージに沿った切れめない支援
- 一人一人のニーズに応じた支援(サポートプラン作成)

◎妊娠・出産をサポート

おやこ保健課

◎子どもの育ち・家庭をサポート

こども安心課

◎地域の障害児支援の中核施設

児童発達支援センター

◎支援・サービスの企画・提供

こども支援課

◎教育・学校との連携強化

〈こども・教育総合相談窓口〉

児童生徒課 (職員を併任)

連携

児童相談所

令和 6 年度から箕面子ども家庭センター
令和 7 年度に豊中市児童相談所を開設

園・学校

保健所

関係機関等

2022年6月	改正児童福祉法成立	2023年4月	こども家庭庁発足
2024年4月	改正児童福祉法施行	市町村	「こども家庭センター」設置努力義務
2023年4月	豊中市はぐくみセンター設置	府内初	
2025年4月	豊中市児童相談所開設	府内中核市初	

災害対策基本法

目的：国土、国民の生命・身体、財産を災害から保護
社会秩序の維持、公共福祉の確保 1961年制定

- 防災に関する組織：防災会議・災害対策本部
- 防災計画：都道府県・市町村地域防災計画
- 災害予防：指定緊急避難場所・指定避難所
避難行動要支援者名簿：2013年改正 市町村義務
要配慮者の個別避難計画：2021年改正 市町村努力義務
指定福祉避難所：受入対象者の特定・公示
- 災害応急対策：警報、事前措置・避難、応急措置
被災者保護（生活環境整備、広域一時滞在など）
物資等の共有・運送
- 災害復旧、財政金融措置、災害緊急措置

災害救助法

目的：災害やそのおそれがある場合、国が地方公共団体、日赤他
国民の協力の下、応急的に必要な救助を行う 1947年成立
都道府県知事が現に救助を必要とする者に行う 法定受託事務
必要に応じて事務の一部を市長に委任

● 救助の種類

- ① 避難所・応急仮設住宅の供与
- ② 炊き出しその他による食品の給与・飲料水の供給
- ③ 被服、寝具その他生活必需品の給与・貸与
- ④ 医療・助産
- ⑤ 被災者の救出
- ⑥ 住宅の応急修理
- ⑦ 生業に必要な資金、器具、資料の給与・貸与
- ⑧ 学用品の給与
- ⑨ 埋葬
- ⑩ 死体の搜索・処理、障害物の除去

災害時個別避難支援事業



- 防災・福祉ささえあいづくり推進事業 平成29年度～
平常時の福祉活動を活かした災害時支援体制づくり
地域団体と協定締結により避難行動要支援者名簿提供
民生・児童委員、地域自治組織、校区福祉委員会、自主防災組織
名簿をもとに小学校区ごとの安否確認訓練
- 65歳以上の単身世帯で要介護1、2または要支援 1、2
- 要介護3以上
- 身体障害者手帳1、2級、視覚、聴覚、上肢・下肢・体幹機能障害
- 精神障害者保健福祉手帳1級所持者で単身世帯
- 療育手帳A所持者で単身世帯
- 難病患者（一定要件を満たす常時人工呼吸器装着者）
- 災害時の自力避難に不安を抱く人で市長が特に必要と認めた人
- 要支援者支援対策検討会議 令和2年度設置
- 災害時個別避難計画推進部会 令和3年度設置

避難場所・避難所

- 指定緊急避難場所

災害の危険から生命を守るために緊急的に避難する場所
災害種別ごとの指定

学校グラウンド・公園など 211か所



- 広域避難場所

大規模な火災等、危険が迫った場合の避難場所

- 指定一般避難所

避難した被災者が一定期間生活するための施設
災害種別に限らず指定

小中学校体育館・校舎、こども園など 163か所 8.5万人



- 指定福祉避難所

一般の避難施設では避難生活が困難な高齢者や障害者等が避難
介護予防センター・高齢者施設など 15か所

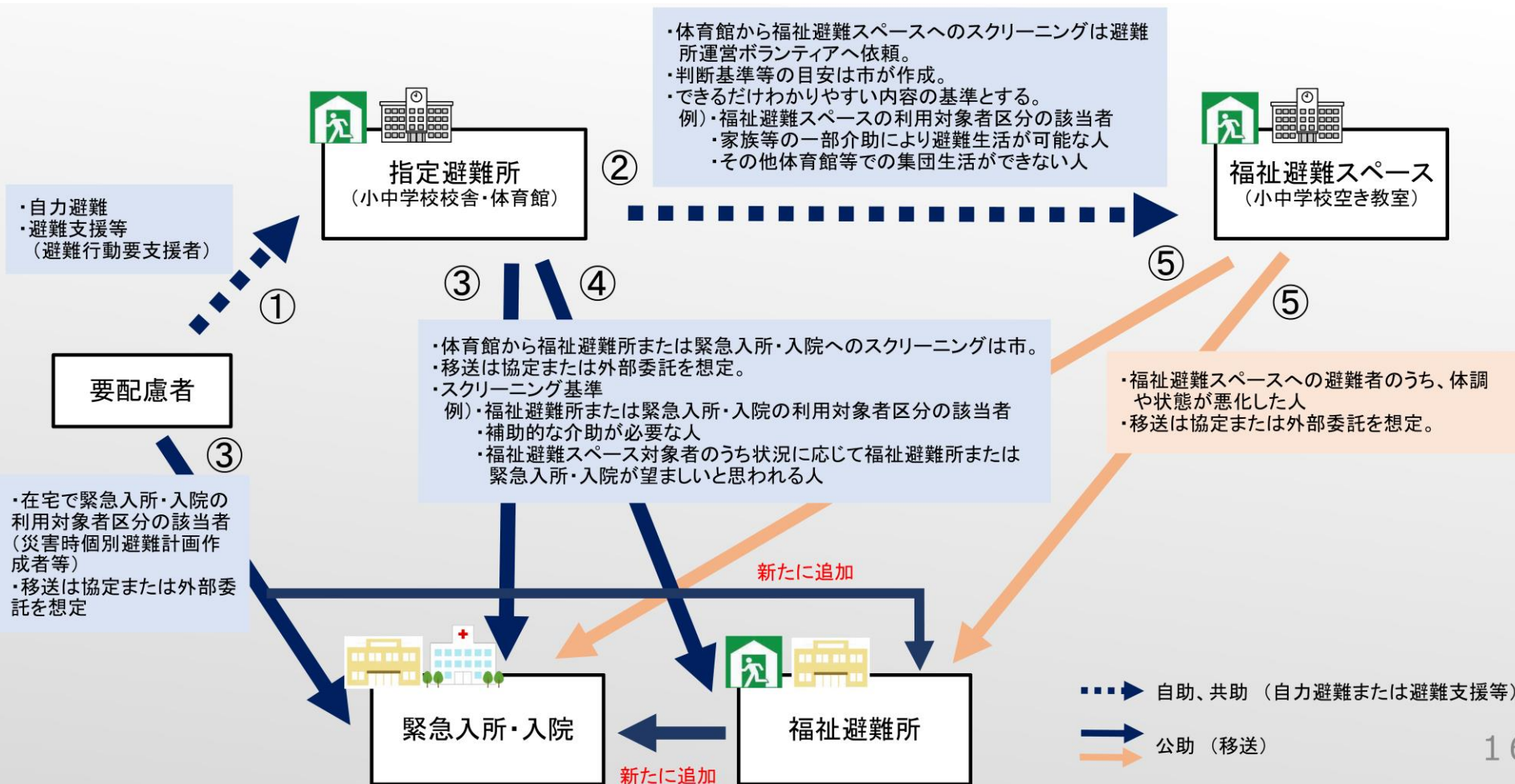
豊中市福祉避難所基本方針

要配慮者区分ごとの想定避難者数と避難先

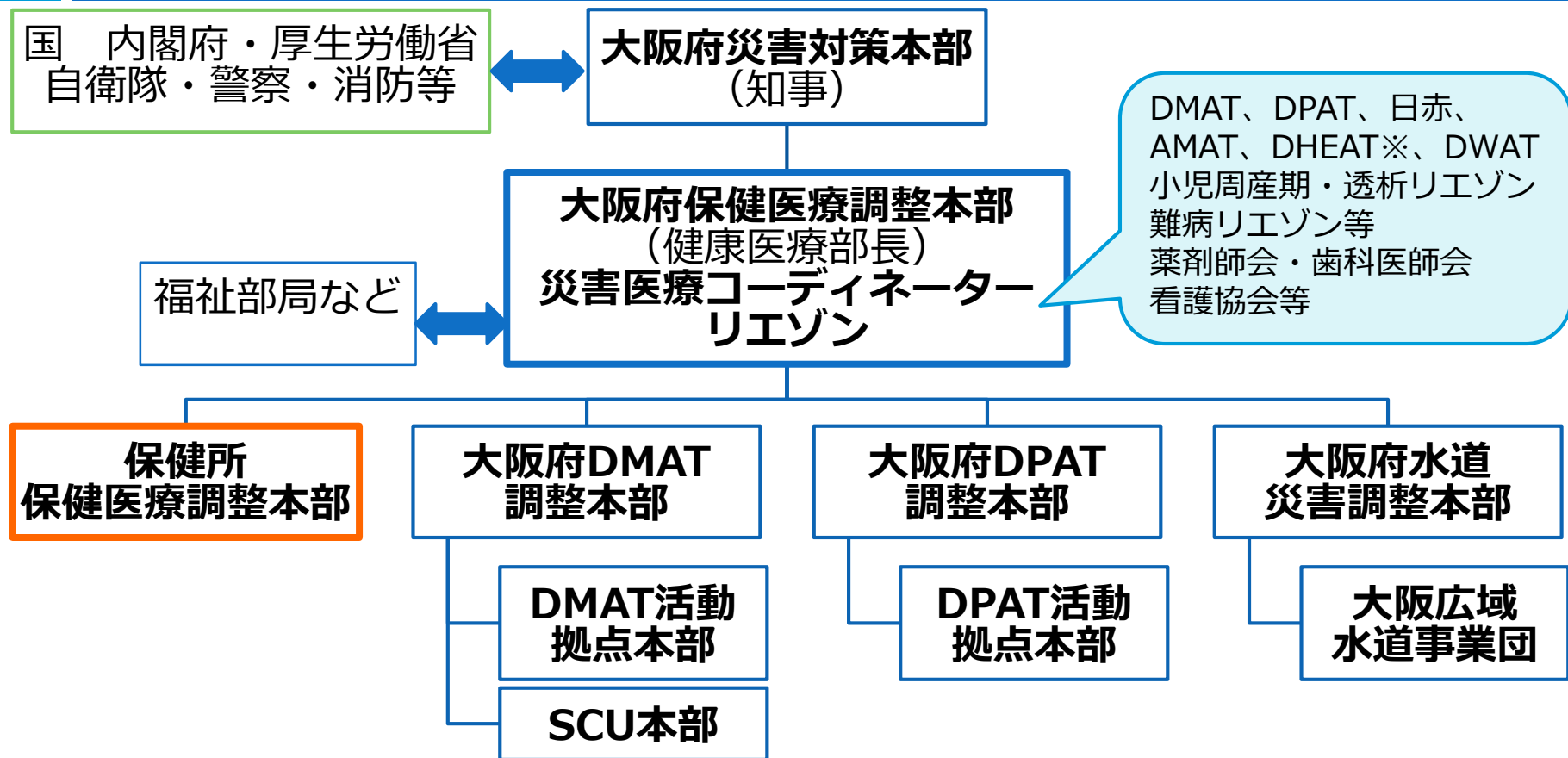
要配慮者区分		想定避難者数 (対象者の13%)	避難先
高齢者	要支援 1、2 要介護 1	1,655人	福祉避難スペース（小中学校空き教室）
	要介護 2、3	773人	福祉避難所
	要介護 4、5	388人	緊急入所施設、病院等
障害者	身体障害者手帳 3、4、5、6 級 精神障害者保健福祉手帳 2、3 級 療育手帳 B 1、B 2	1,838人	福祉避難スペース（小中学校空き教室）
	身体障害者手帳 2 級 精神障害者保健福祉手帳 1 級 療育手帳 A	476人	福祉避難所
	身体障害者手帳 1 級	593人	緊急入所施設、病院等
その他	乳幼児 妊婦	2,014人	福祉避難スペース（小中学校空き教室）

- 福祉避難スペース・福祉避難所不足（定員4102人、1187人）想定約7700人
- 避難先確保・スクリーニング・移送・運営などの課題あり

福祉避難所等対応フロー

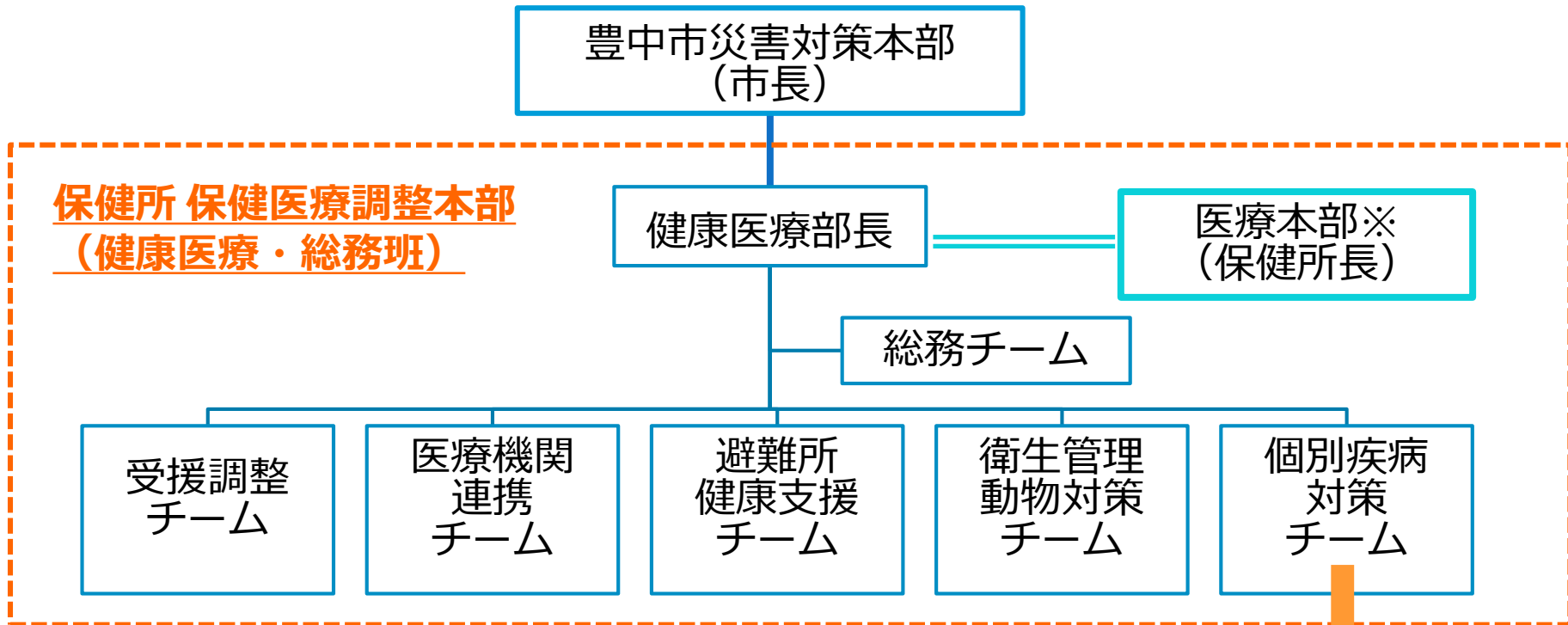


大阪府保健医療調整本部



※DHEAT：災害時健康危機管理支援チーム Disaster Health Emergency Assistance Team

豊中市災害時保健医療体制



※ 医療本部
豊中市医師会・歯科医師会・薬剤師会
豊中市病院連絡協議会
豊中市訪問看護ステーション連絡会
市立豊中病院・豊中市保健所

- 個別疾病対策チームの業務
- ✓ 個別対応が必要な被災者への対応
医療的ケア児・者
- ✓ 被災者のメンタルケア(DPATと連携)

災害時医療的ケア要援護者基準

優先順位	対象
Aランク 24時間以内の 安否確認を めざす	在宅常時人工呼吸器装着 鼻マスク利用者 指定難病以外も含む
Bランク 発災後可及的 速やかに対応	電源確保が必要な医療機器使用 （吸引、人工呼吸器、酸素等） 寝たきり・それに準ずる人か、 単身で外出ができない人

平常時の取組み

- 医療的ケア児支援ガイドブック、リーフレットの活用
- 申請時面接・療養相談時の情報提供



豊中市こども未来部おやこ保健課

5 災害などの非常事態に備えて

■ 災害に備えた日頃の準備

1 自宅付近で想定される災害の状況について知りましょう

2 避難場所・避難ルート・避難方法を決めておきましょう

3 医療用具や衛生用品等を備蓄しておきましょう

4 医療機器の転倒防止等環境整備をしておきましょう

5 停電への対応を確認しておきましょう
参考文献：国立成育医療研究センター「医療機器が必要な子どものための災害対策マニュアル～電源確保を中心に～」

6 災害時の連絡先・連絡方法について確認をしておきましょう

電源が必要な医療機器をご使用の方へ

豊中市おやこ保健課では、電源が必要な医療機器を使用されている方に、災害時・停電時に備えて「防災プラン」を作成しています。地震・停電が起こった場合の対応の流れやお子さんの基本情報・医療情報シート等をご家族及び関係者で作成します。詳細はおやこ保健課（P10）までお問い合わせください。

避難場所一覧

防災プラン

- ・地震・停電が起こった場合の行動フロー
- ・災害時関係者連絡リスト
- ・私の病状シート
- ・災害に備えて用意しておくもの
- ・情報入手方法
- ・災害対策チェックリスト
- ・土砂災害・浸水などのフロー

<資料>

- ・災害伝言ダイヤル・伝言板の体験訓練
- ・環境整備・安全確保
- ・電源確保の方法(参考)
- ・わが家の防災マップ(冊子)
- ・豊中市浸水ハザードマップ

豊中市

在宅人工呼吸器使用者のための

Aランク

「防災プラン」

さん

- *この計画は、災害への備えや災害時の対応について、ご本人・ご家族及び関係者が相談し作成したものです。
- *災害はある日突然やってきます。この計画を人工呼吸器のすぐ側において、定期的に内容を確認してください。災害時は落ち着いて、対応しましょう。
- *避難・入院する際は、この計画を必ず持って行きましょう。

自宅付近のハザード情報 想定されるものに○

地震

津波

土砂災害

浸水
(洪水・内水はん濫)

作成日	年 月 日
確認者 (配布先)	所属 氏名

南海トラフ地震臨時情報

- 南海トラフ地震臨時情報 巨大地震注意 2024年8月8日～15日
 - 8月8日(木) 日向灘地震M7.0 臨時情報 豊中市地震災害警戒本部体制
 - 8月9日(金) 在宅難病患者等（Aランク、Bランクの気切吸引・酸素）に災害の備えを電話確認
 - 8月15日(木) 豊中市地震災害警戒本部体制解除

南海トラフ臨時情報

巨大地震警戒
プレート境界
M8.0以上

巨大地震注意
M7.0～8.0
ゆっくりすべり

調査終了

地震発生から
最短2時間

地震の備え再確認
地震発生時避難できる
準備
要配慮者事前避難

地震の備え再確認
地震発生時避難できる
準備
自主避難

通常の生活

大規模地震の発生が
なくなったわけでは
ないことに留意

1週間後

地震の備え
自主避難

2週間後

風水害時の事前避難入院

- 令和6年台風第10号 2024年8月22日～9月1日

8月22日(木) 保健所からX病院へ事前避難入院に関する問合せ

入院条件：過去1年以内にX病院に受診・入院歴がある

24時間人工呼吸器装着、気切吸引、24時間在宅酸素療法

8月23日(金) 条件に該当する患者21人への情報提供

8月26日(月)～29日(木) 4人がX病院に問合わせ

Aランク3人入院 神経筋疾患

上記以外の患者に台風対策について電話確認

9月2日(月) 患者退院確認



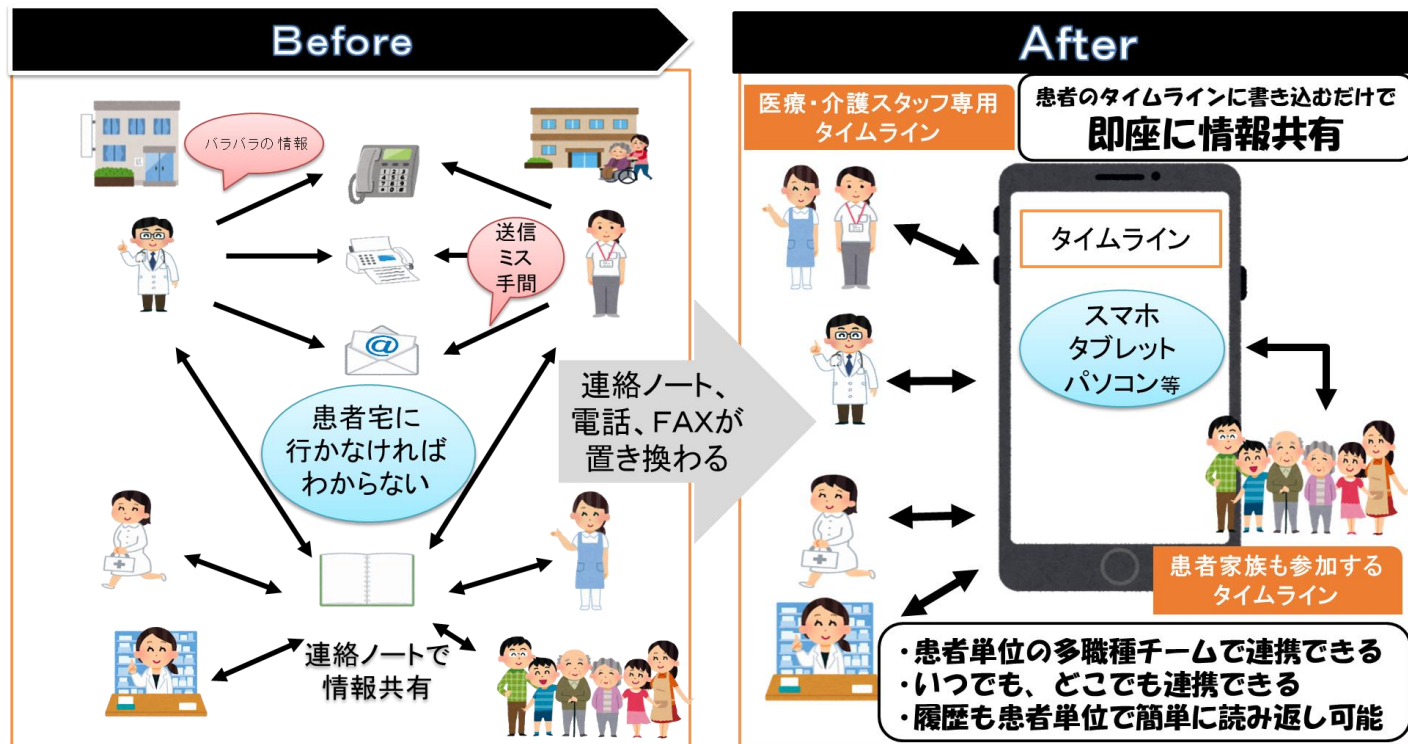
停電時の電源確保

- 在宅医療
 - 大阪府在宅医療サービス基盤整備推進事業費補助金の活用
「在宅医療において積極的役割を担う医療機関」
第8次医療計画にて整備
在宅人工呼吸器使用者非常用電源の購入費
全医療機関に蓄電池購入予定豊中市内3病院・4診療所
 - 訪問看護ステーション
 - 医療機関
大阪北部地域神経筋難病ネットワーク会議
- 災害時協定
避難所等への外部給電ができる車両提供



ICTを活用した安否確認

- MCS (Medical Care STATION) の活用
完全非公開型医療介護専用SNS
在宅医療・介護連携支援センター運営事業
2018年導入 平時から診療に利用



安否確認訓練

- 日常診療で利用しているツール
- 多機関による効率的な情報発信・コミュニケーション
- 患者家族の参画による防災意識の向上
- 医療本部会議で活用 医師会・歯科医師会・薬剤師会が参画



まとめ

自助・共助・公助

- 災害時保健医療体制・地域の資源を知る
- 平時から患者家族とともに地域での多機関・多職種で備える
- 防災DX

